

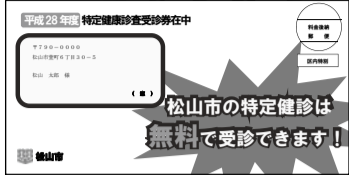
メタボ健診を受けましょう

市国保加入の40～74歳は無料



市国民健康保険の特定健診は無料で受けられます。生活習慣病にかかる医療費は医療費全体の約3割を占め、それをまかなっているのが皆さんの負担する保険料。これからは病気になってから治すのではなく、未然に防ぐことが大切です。

日時 5月～平成29年3月
内容・会場 地域健診(年間約200回)＝公民館・農協・保健所など▶個別健診＝市指定医療機関(約250カ所)▶医師の診察、身体測定、血液検査、尿検査など(1人1回)
対象 市国民健康保険に加入している40～74歳(対象の人には5月中旬に受診券を送付)。



5月中旬に受診券を送付

※託児付き健診日(男女ともに利用可)や託児付き女性専用日、休日健診もあります。今年度から公民館や農協などの地域健診でも事前予約が必要な会場が増えました。受診時には、受診券と健康保険証を用意してください。また地域健診と一部の医療機関では、がん検診も受けられます
問健康づくり推進課 ☎911-1819・FAX925-0230

安定的な水道水の供給を 久谷地区簡易水道統合整備事業が完了

平成23年度から実施してきた「久谷地区簡易水道統合整備事業」が完了したことを受け3月30日、久谷浄水場で完成式典が開催されました。



場内見学の様子

この事業では、久谷地区の6つの簡易水道が老朽化したため、施設の効率化や

コスト面を考慮し、水源地5カ所の改修や浄水場、配水池、中継ポンプ場の新設など、久谷地区全体の施設を一体的に整備しました。式典には地元住民をはじめ約40人が参加。梅岡副市長は「これまで以上に、安全・安心な水道水を将来にわたって安定的に供給できるようにになった。今後水道事業者としての責務を果たしていきたい」と話しました。
式典後は施設見学会が行われ、出席者は担当職員から浄水場内の設備の説明を受けていました。
問建設整備課 ☎998-9840・FAX932-3326

人権と福祉のまちづくりの拠点に 朝生田ふれあいセンターがオープン

耐震化のため建て替えて進んでいた朝生田ふれあいセンターが完成し3月26日、落成式典が開催されました。



朝生田ふれあいセンター

ふれあいセンターは人権に関する啓発活動や相談、高齢者との交流など地域福祉活動の拠点。朝生田ふれあいセンターにはエレベーター、多目的トイレ、中庭が設置され、地域の声を聞きながら高齢者や障がい者にやさしい施設となるよう配慮しています。
オープニングイベント後の式典で野志市長は「新施設を地域の宝として、全ての人の人権が尊重されるまちづくりのほかに、さまざまな地域活動、防災の拠点として、大いに活用してほしい」と述べました。
問人権啓発課 ☎948-6633・FAX934-1742

後期高齢者 医療保険加入者 健康診査が無料で 受けられます

後期高齢者医療保険に加入している人は無料で健康診査が受けられます(6カ月以上入院している人、施設などの入所者、生活習慣病で定期的に医療機関を受診している人は除く)。

前年までに後期健康診査を受診したことがある人などには、5月中旬に受診券を送付します。それ以外で受診券が必要な人は、受診の3週間前までに高齢福祉課へご連絡ください。
問高齢福祉課 ☎948-6862・FAX934-1763

まつやま経営交流プラザリニール 「未・来Jobまつやま」オープン

平成25年から創業予定者や企業経営者などへの支援を行ってきた「まつやま経営交流プラザ」をリニールし、「未・来Jobまつやま」としてオープンしました。



「未・来Jobまつやま」フロアの様子

今年度からは新たに就業支援に加え、創業・経営・就労支援などのサービスをワンストップで提供する「しごと創造」の拠点となります。4月5日に行われた開所式で森田所長は「就きたい仕事が見つかる、新しい未来の仕事を創造することをイメージし『ミライガクルミラクル』とした」と名称の由来を説明しました。

今後は関係機関と連携しながら「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる基本目標「魅力ある仕事と職場をつくる」の実現に向けて取り組んでいきます。
問地域経済課 ☎948-6399・FAX934-1844

五明地区 市長と話そう! タウンミーティング



地域おこしや地域の課題をテーマに開催

五明地区のまちづくりについて「五明地区の地域おこし」「地域の課題解決にむけて」をテーマに3月27日、五明公民館でタウンミーティングが行われました。
参加者からは、「地域の定住人口が増えるよう、地域限定の対策をお願いしたい」「イノシシが非常に減った。3年連続で駆除を続けた効果が出ているので、今後も協力をお願いしたい」などさまざまな意見が挙がりました。



活発な意見交換が行われた当日の様子

野志市長は、地籍調査や地域おこし協力隊導入の取り組みを説明したほか、「鳥獣被害対策補助を今年度も継続して行う」と話しました。
意見・要望
●バス路線を維持してほしい(男性)
感想
●3回目のタウンミーティングでしたが、年々充実していると思う(男性)

三津浜地区のさらなるにぎわい創出を目指す 港山城跡山頂広場が整備されました

三津浜地区にある港山城跡の山頂広場が整備され3月26日、落成式が行われました。



瀬戸内の景色が広がる山頂広場

この整備は「三津の渡し」を利用して港山城跡へ登るなど、三津浜地区の回遊性向上やにぎわいを創出しようと、松山西部地域開発協議会が市の補助を受けて実施。
式で同協議会の村上会長は「多くの人の協力で、整備が実現した。災害時の避難場所になるほか、普段は憩いの場として多くの人に訪れてほしい」と期待を寄せました。また野志市長は「地元の人と市の協働により、新たな宝ができた。これからこの宝を子、孫へと引き継いでいきたい」と述べました。
問都市デザイン課 ☎948-6848・FAX934-1807

豊かな自然が五明の魅力



橋本 忍さん、龍昌くん、光ちゃん(神次郎町)

初めて参加し、学校や地域が抱える課題を知ることができました。五明は小学校でオオムラサキの成長を観察できるなど、自然豊かなところが魅力です。

問タウンミーティング課 ☎948-6333・FAX934-2336